

「令和4年度新規課題公募における行政要請研究テーマ(行政ニーズ)について」プログラム

- ・1テーマあたり3分の説明となります。
- ・グループ内のテーマ説明が全て終了したら5分間の質疑応答となります。
- ・当日の進行によって時間が多少前後する場合があります。

グループ	開始	～	終了	担当 部会	テーマ番号	行政要請研究テーマ名
	13:10	～	13:20			概要説明
A	13:20	～	13:40	安全確保	5-18	環境中における化学物質の生涯総ばく露(エクスポソーム)の測定・評価に関する研究
				安全確保	5-14	水生生物に対する影響指向型解析を用いた化学物質による環境リスクの評価とその原因推定に関する研究
				安全確保	5-15	化学物質に対する鳥類繁殖毒性評価のための新規試験法の開発に関する研究
				安全確保	5-16	環境中の医薬品が魚類の行動、繁殖等に及ぼす影響の評価手法に関する研究
				安全確保	5-17	作用、構造等が類似する複数物質の生態リスク評価に関する実践的研究
B	13:40	～	14:10	気候変動	2-3	燃焼起源SLCFの排出量把握と削減効果の評価による気候変動政策手段としての可能性探求
				気候変動	2-4	大学を核とした地域の実効性あるカーボンニュートラル化に向けた取組を評価する指標策定
				統合	1-6	アジア途上国における気候中立社会を実現するロードマップ作成とその実装化を支援する枠組の検討
				統合	1-5	2050年カーボンニュートラルの達成のための土地利用分野CO2吸排出量シミュレーターの開発
				気候変動	2-5	地域特性に応じた適応の優先度と限界等を考慮した適応策立案手法の開発
				気候変動	2-6	循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行による脱炭素社会の実現に向けたシナリオ分析の高度化
				気候変動	2-7	再生可能エネルギー導入促進等に向けた環境影響評価手法の研究・開発
<b>休憩 10分</b>						
C	14:20	～	14:40	資源循環	3-2	地域の有機性廃棄物を活用した脱炭素化に資する自立分散型エネルギーシステム構築
				資源循環	3-3	地域特性に合わせた廃棄物分別・回収システム構築及びモデル化
				資源循環	3-4	感染症対策を踏まえた地域における持続可能な資源循環・廃棄物処理システム構築に関する研究
				資源循環	3-6	アスファルトやコンクリート等の建設資材やガラス・アルミ等のプラスチック以外の素材の水平リサイクル実現に向けたリサイクルの質向上に関する研究開発
D	14:40	～	15:00	統合	1-3	福島の復興・再生を加速させる脱炭素型社会の先行モデル地域・地域循環共生圏の形成に関する研究・技術開発
				統合	1-4	自然資源活用や第一次産業を基盤とする脱炭素社会と原子力災害被災地の再生の両立に関する研究
				資源循環	3-1	2050年カーボンニュートラルに向けた浄化槽システムの転換方策の検討
				資源循環	3-5	廃棄物に由来して排出されるPOPs等のリスク評価及び低減手法の開発

グループ	開始	～	終了	担当 部会	テーマ番号	行政要請研究テーマ名
休憩 10分						
E	15:10	～	15:35	統合	1-1	生物への曝露量予測のための微細なマイクロプラスチックの実態把握と将来予測
				統合	1-2	マイクロプラスチックの物理化学的特性の違いを考慮した生物影響の研究
				安全確保	5-4	石綿残存状況の把握のための推計方法の開発に関する研究
				安全確保	5-5	大気濃度測定に基づく、石綿の除去現場における実用的な漏えい確認手法の開発
				安全確保	5-10	自動車から排出されるタイヤ粉塵等に対する新たな排出量評価法の研究
				安全確保	5-9	車種や音源の分離が可能な高精度の道路交通騒音モニタリングシステムの開発
F	15:35	～	15:55	安全確保	5-1	PM2.5成分濃度と循環器系疾患(心筋梗塞・脳卒中)等の発症との関連性の解明に係る研究
				安全確保	5-2	多環芳香族炭化水素(PAHs)の個別物質に係る毒性強度の把握手法の開発と把握
				気候変動	2-1	植物の二酸化炭素(CO2)吸収能力等に対するオゾンの影響の定量的把握
				安全確保	5-3	PM2.5等の年平均濃度分布を把握するための長期曝露評価手法の確立に係る研究
				安全確保	5-6	国際動向を踏まえた我が国における道路交通等騒音と健康影響に係る疫学的解析
G	15:55	～	16:15	安全確保	5-11	干潟生態系機能の把握と活用:閉鎖性海域の新たな管理手法の開発
				安全確保	5-12	瀬戸内海における順応的プロセスによる栄養塩類の管理に向けた評価手法の提案
				安全確保	5-19	瀬戸内海における順応的プロセスによる栄養塩類の管理に向けた数理モデルの開発と実証
				安全確保	5-20	栄養塩類管理計画の適切な実施に向けた海域における栄養塩類循環機能の解明と効果的な栄養塩類供給方法の探索
				安全確保	5-8	情報技術(IT)の活用による地方自治体における環境測定分析技術の保全・向上及び環境管理の支援・改善に関する研究
休憩 10分						
H	16:25	～	16:50	統合	1-7	地域猫活動がネコの地域個体群及び地域社会にもたらす影響に関する研究
				自然共生	4-1	企業の技術・製品・サービスにおける生物多様性への貢献に関する定量的評価手法の研究開発
				自然共生	4-2	国立公園等における利用者負担の導入に関する影響予測・評価手法の開発
				自然共生	4-3	野生動物の忌避行動等を活用した保全策の開発
				自然共生	4-4	侵略的外来種の早期侵入把握・革新的な防除技術の開発
				自然共生	4-5	市街地出没に対応できる新たな野生鳥獣管理技術の開発